



家の点検と補強を

六月三十日夜半から七月一日朝にかけて上陸した台風六号は、尊い人命を奪い、数多くの被害を及ぼし去って行きました。

これから、台風シーズンを迎へ被害を少しでも小さくする為に、下の図のようなことに注意しましょう。

懐中電灯・トランジスタラジオ・予備電池は、家の中で一番わかりやすい場所に置き、家族みんなが確認しておきましょう。また、いざという時に備え、非常持出品の用意もしておく和良好的と思います。

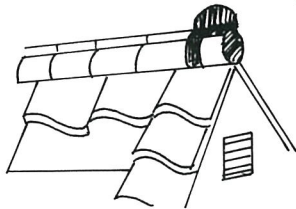
そして、台風が近づいて来たら気象情報を良く聞き、正しい判断のもとに行動しましょう。

強風下での外出は危険です。どうしても外出する場合は細心の注意をしましょう。

避難口は必ず確保をしておき火の元のチェックは厳重に。

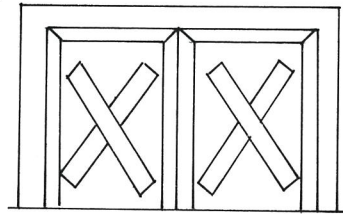
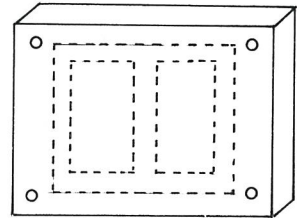
●屋根

かわらが飛ばされると軽くなって、屋根全体が飛ばされるケースがあります。かわらのひび、割れ、ずれ、はずれなどを点検し、しっくいなどで修理しておきます。トタン屋根は強風でめくれることがあるので、釘で固定し、表面をペンキで補修します。



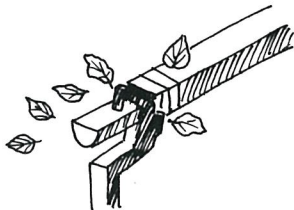
●窓ガラス

窓枠のがたつき、はずれなどを直します。ひびの入っているガラスは交換しておきます。強風に備えて外側から板でふさぐか、ガラス面にビニールテープをはっておきます。



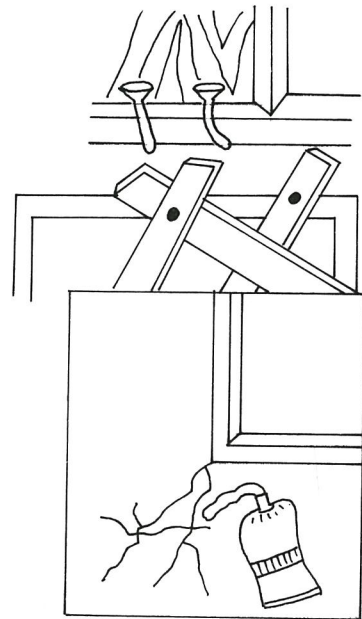
●雨どい

雨が正常に流れるように、落葉、土砂などのつまりを取り除きます。継ぎ目のはずれ、とこの傾斜を正しく修正し、さび、塗装のはがれ、穴などを防水テープとペンキで補修しておきます。



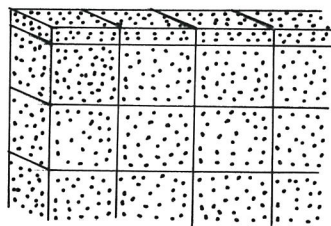
●雨戸

雨戸は外枠に釘で固定。柱とのすき間にテープをはっておくと、強風による雨の吹き込みが防げます。強い台風の場合は、雨戸の上から筋かいで補強します。



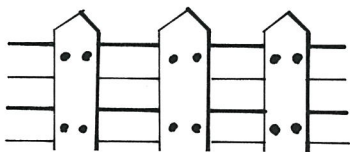
●ブロック塀

ひび割れたり、破損した箇所をモルタルやインスタントセメントで修理します。



●板塀

古くなった板塀は、羽目板の釘が浮いています。いたみの激しい羽目板を取りかえながら浮いた釘を打ち直しておきます。



●壁

モルタルの壁は亀裂にコーキング剤などを注入して補修します。10年に1度はモルタルの吹きつけをしておきましょう。

切れた電線はすぐ東京電力へ TEL 〇四七九七(二)〇〇四一